



「越後雪かき道場」(p128)の参加者(ボランティア)と地域の「師範」、スタッフの皆さん  
写真提供=越後雪かき道場

# 雪かきを担うのは誰だ

雪深い集落で発揮される共助の力。  
そして雪国の外にも、雪とともにある暮らしを学び、  
受け継ぎたいと思う人がいる。



写真=橋本紘二



冬の積雪量が2〜3mにもなる豪雪地帯。山形県尾花沢市の細野集落では2014年の冬から、高齢者宅など除雪が困難な人や空き家になっている人を対象に「除雪作業のお手伝い」を始めた。

期間は12月から3月までの4カ月間。積雪があると1回あたり1000円で除雪を引き受けるといふものだ。雪かき隊のメンバーは、自営業や建設業などで冬は家にいることが多い人。自営で機械修理業をしている30代から、年をとっても体はまだまだ元気という70代まで、男性11人が集まった。10月中旬になると、集落の各家にチラシを配り希望者を募るのだが、昨シーズンは高齢者宅など11戸と空き家3戸の除雪を引き受けた。

### 末端の集落は絆が強い

「細野は末端部落で、集落を通る市道は南へ向かうと行き止まり。どこさも抜けることができないのヨ。だから昔は、よそからここまで来る人はなかなかなかったべ。そのせいか、絆が強いっていうか、みんなで助け合って生きていこうっていうことでまとまっているんだねえ」  
そう話すのは「清流と山菜の里 ほその村」会長の五



集落

年をとっても一人になっても暮らせるように

## どんづまりの集落が始めた 除雪のお手伝い

山形県尾花沢市・清流と山菜の里 ほその村

文=編集部



屋根の軒下にたまった雪を除雪しているところ。1シーズンに3回くらい行なう